



# 第3回 大分県農業成長産業化推進本部会議

## [目次]

議題1) 大規模園芸団地10+ (テンプラス) プロジェクトについて

- ①大規模園芸団地10+ (テンプラス) プロジェクト推進状況
- ②R7年度園芸団地化プラン (策定見込) 事例報告 (佐伯市、中津市、豊後高田市)
- ③情報共有

議題2) 中山間地域の農業・農村振興について

- ①「大分県中山間地域農業・農村活性化指針 (成案)」
- ②今後の取組

議題3) 畜産振興の取組 (自給飼料の生産拡大) について

- ①畜産経営をめぐる情勢と目指す方向
- ②今後の取組

その他

- ①今後のスケジュール

[巻末資料]

日時: 令和8年2月17日(火)10:00~11:30

場所: 大分県庁 新館 14階 大会議室



## 議題1) 大規模園芸団地10+(テンプラス)プロジェクトについて

【概 要】※検討中の内容を含むため具体的な資料は割愛

- ①大規模園芸団地10+(テンプラス)プロジェクト推進状況  
市町毎の推進状況等について情報共有
- ②R7年度園芸団地化プラン(策定見込)事例報告(3市)  
3市町から取組の事例報告
  - i 現状(地区概要、農地概要、課題など)
  - ii 計画(団地面積、担い手、品目など)
  - iii これまでの経緯と今後のスケジュール
  - iv 担い手と農地のマッチングの経緯
  - v 今後のとりくみにおける課題、留意点
- ③情報共有  
目指す大規模園芸団地のイメージを共有し、令和8年度に向けて検討中の支援策等について情報共有



# 情報共有(大規模園芸団地のイメージ)



## 《参入者のメリット》

- ①圃場や各種施設の効率的な規格・配置
- ②機械化やスマート機器活用による営農の省力化、高度化
- ③働きやすい環境整備による労働力確保
- ④複数品目、品種の導入による周年雇用
- ⑤大口生産による有利販売

## 《地域のメリット》

- ①未利用農地の再生、有効利用
- ②営農モデルとして新たな担い手を呼び込む好循環の実現
- ③生産額増加、雇用促進等による地域経済への波及効果
- ④農業従事者の増加による地域農業、周辺農地保全等への好影響
- ⑤交流人口増加等による地域連携・貢献



## 議題2) 中山間地域の農業・農村振興について



## 「大分県中山間地域農業・農村活性化指針(成案)」

### 【経過】

- R7年2月 第1回県推進本部会議で「地域農業の持続的発展に向けた取組」を議論
  - ・地域ごとに課題はまちまち、他市町の先進的・効果的な取組を共有してもらいたい
  - 対象や目的別の取組整理や優良事例の収集など継続して検討することを決議
- 4～5月 市町推進本部から地域農業の現状・課題や取組事例について意見集約
- 7月 第2回県推進本部会議で課題を共有
  - 施策の方向性の整理と、具体的な取組を検討する際の参考となる事例を集約した「**大分県中山間地域農業・農村活性化指針**」の今年度中のとりまとめを決議
- 8～12月 活性化指針たたき台、素案の協議

### ◆中山間地域農業・農村活性化指針(成案)について

#### 【活性化指針の構成】

- |           |   |
|-----------|---|
| 1) 策定の趣旨  | 市町、農業団体、県とが目標を共有し、方向性を一にして中山間地域の振興に取り組む   |
| 2) 指針の役割  | 今後の施策や取組の方向性を共有するための「考え方」や「方針」を示し、総合的な中山間地域の振興策をとりまとめたもので、具体的な取組を検討する際の参考とするもの                        |
| 3) 基本目標   | ①地域の実情に応じ、創意工夫を凝らした収益性の高い農業生産活動の維持と発展による <u>農業の成長産業化</u><br>②地域で支え合う農村づくりや地域の活動拠点づくりによる <u>農村の活性化</u> |
| 4) 具体的な取組 | ① <u>担い手の育成と確保</u><br>② <u>農地の適正利用と保全</u><br>③ <u>活力ある農村環境づくり</u>                                     |
| 5) 推進体制   | ①市町推進本部・・・地域の実情に応じた方針決定や具体的な取組の検討・実施<br>②県推進本部・・・効果的な支援策の検討や情報共有など市町推進本部の後押し                          |
| 6) 取組事例集  | 55事例／17市町推進本部   |
| 7) その他    | 中山間地域振興に活用可能な支援策逆引集   |

#### ○今後について

- ・施策や取組に変更ある場合や新たな優良事例の追加、活用可能な支援策の更新など適宜見直し予定



## 今後の取組

### 【経緯】

- 11～12月 市町推進本部と今後優先的に取り組む議題について意見交換
- ・市町ごとに優先的な課題が異なり多岐にわたることから、共通するボトルネックが定まらない
  - ・その中で、担い手（個別経営体、集落営農法人）の経営安定、経営継承、市農業公社の機能強化、参入企業と地域との連携など『**担い手の育成と確保**』部門に意見が比較的集中
- (例) 集落営農法人の経営のてこ入れが必要  
 リタイアする農家から参入企業や新規就農者などへ、スムーズに継承できる仕組みづくりが不可欠  
 農業支援サービス事業体となる農業公社等の、スマート技術や機械の導入など機能の充実が重要  
 労働力不足を補うため、若い世代や企業など、多様な人材が参加できる仕組みづくりが必要

### 【今後の取組方針】

活性化指針の第4章具体的な取組の『I 担い手の育成と確保』の中から、**市町推進本部ごとに地域の実情に応じて優先する課題を選定、具体的取組を検討し、実行**

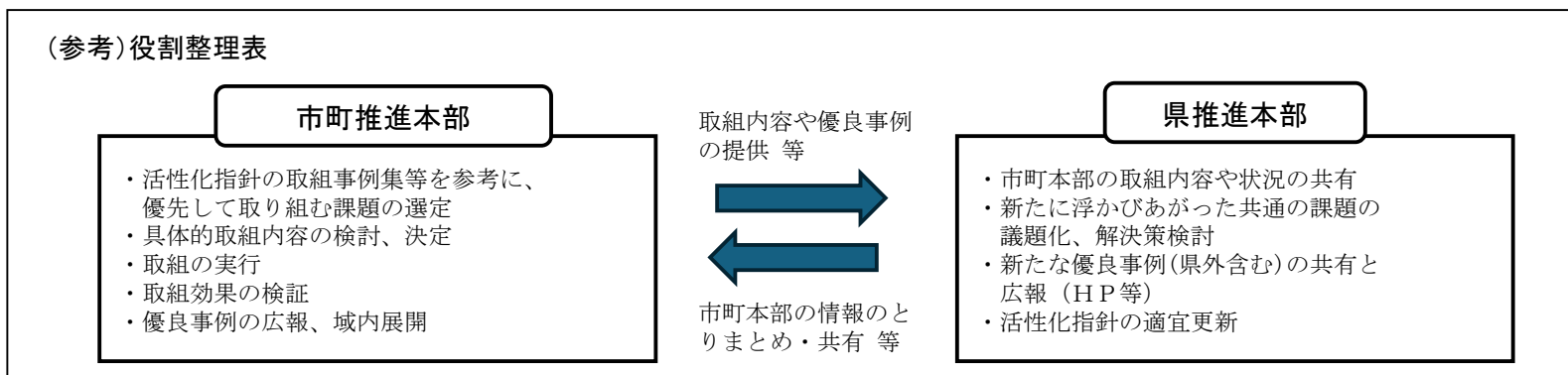
#### ➤ テーマ(案) 『地域の実情に応じた担い手の育成・確保の仕組みづくり』

(取組例) 地域農業を支える人材が育ち続ける基盤づくり(F S取組強化、農地集約化、市町農業公社の機能強化、スマート基盤整備等)、集落営農法人の経営力強化・広域化、地域内外の多様な人材の活用(外国人材の産地間・異業種間連携等) 等

#### スケジュール (案)

- |      |          |   |
|------|----------|---|
| 4月   | 課題の選定と共有 | (事務局会議) 市町推進本部ごとの優先的に解決すべき課題の共有   |
| 5～6月 | 取組内容の検討  | (市町推進本部) 他市町推進本部も参考にしつつ、具体的な取組内容を検討                                     |
| 7月   | 取組内容の共有  | (県推進本部会議) 市町推進本部ごとの課題選定理由、目標、具体的な取組内容等の共有<br>➤ 県内共通で解決すべき課題があれば、議題化等を検討 |

#### (参考) 役割整理表





### 議題3) 畜産振興の取組(自給飼料の生産拡大)について



# 畜産経営をめぐる情勢(現状と課題)

## Fact1 「経営戸数・規模」

- ▶飼養戸数は減少
- ▶1戸あたり頭羽数は140~170%に増加など規模拡大が進行

### ●飼養戸数(戸)

	H26	R元	R6	R6/H26
肉用牛	1,450	1,190	964	<b>66%</b>
乳用牛	156	123	94	<b>60%</b>
豚	60	47	37	<b>62%</b>
鶏(採卵)	37	22	15	<b>41%</b>

### ●1戸あたり頭羽数(頭・羽)

	H26	R元	R6	R6/H26
肉用牛	35.4	39.4	56.4	<b>159%</b>
乳用牛	90	98	131	<b>145%</b>
豚	2,422	2,815	4,141	<b>171%</b>
鶏(採卵)	34,405	49,773	57,733	<b>168%</b>

## Fact2 「飼料費の高騰」

- ▶配合飼料や輸入飼料の価格は150%に高騰

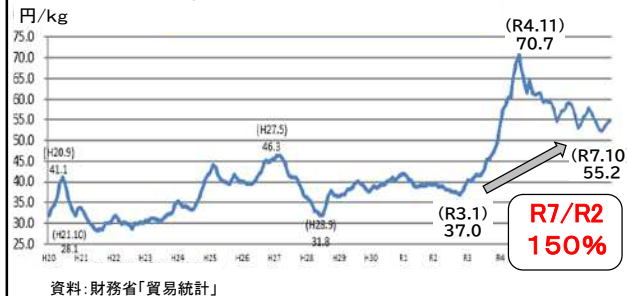
### <濃厚飼料>

#### ●配合飼料価格(工場渡し)



### <粗飼料>

#### ●乾牧草の輸入価格(税関価格)



## Fact3 「生産コストと飼料費」

- ▶生産コストは最大で140%となり、畜産経営を圧迫
- ▶生産コストに占める飼料費の割合は3~7割と高い

### ●1頭あたり生産コスト(千円/頭)

下段[ ]は飼料費の占める割合

	H30	R5	R5/H30
肥育牛	1,353 [24%]	1,396 [35%]	<b>103%</b>
子牛	463 [56%]	601 [58%]	<b>130%</b>
乳用牛	784 [54%]	1,050 [63%]	<b>134%</b>
肥育豚	30 [70%]	42 [74%]	<b>139%</b>

資料: 農林水産省「農業経営統計(畜産物生産費)」・[全算入生産費]

飼料費(生産コスト)削減による経営安定化を図り、規模拡大の流れを維持

- ・配合飼料や輸入乾牧草の価格高騰により畜産経営は厳しい情勢
- ・主食用米の高騰を受け、水田を活用した飼料生産が減少
- ⇒畜産経営安定に向け、外部要因に左右されにくい自給飼料への転換が必要



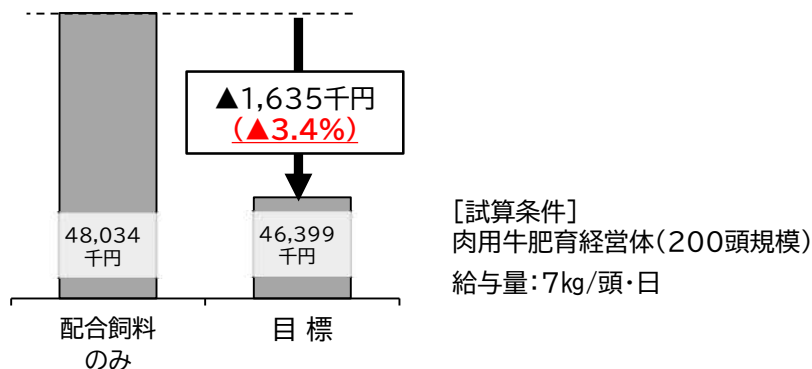
## 目指す方向(濃厚飼料高騰への対応策)

・濃厚飼料(配合飼料)の一部を飼料用米に代替することで飼料費を削減

### 濃厚飼料

- ・飼料用米の価格は配合飼料の約3割  
[R7.10月] 飼料用米30千円/t < 配合飼料94千円/t
- ・配合飼料の自給率目標(R15)を5%に設定(R7現状1.7%)  
↳全畜種平均、畜産物に与える影響等を加味し県で設定
- ・おおいた和牛、豊後米仕上牛(交雑肥育)、米の恵み(豚)などの畜産物のブランド化に活用

### 飼料費削減効果の試算



#### <飼料用米活用プロジェクト(R5. 8月~)>

- ・農業総合戦略会議の取組の一環として設立
- ・畜産農家の需要を把握し、耕種農家とのマッチング推進
- ・事務局:大分県畜産協会
- ・マッチング実績:R6年産1,002t、R7年産559t

### 飼料用米の必要量

		肉用牛(肥育)	酪農	豚	鶏
頭羽数	現状(R7)	15,500頭	7,750頭	136,600頭	2,694千羽
	目標(R15)	17,800頭	8,650頭	140,000頭	3,312千羽
配合飼料利用量(R15)		① 232,337t			
自給率		② <u>5.0%</u>			
5%自給必要量		③ = ① × ② 11,617t			
R7県内向け供給見込量		④ 4,751t (761ha)			
拡大必要量		⑤ = ③ - ④ <u>6,866t (1,054ha)</u>			



## 目指す方向(粗飼料高騰への対応策)

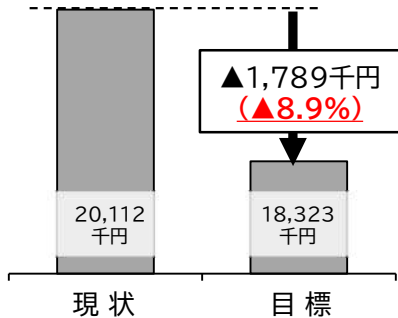
・粗飼料の自給率を向上させることで飼料費を削減

### 粗飼料

・自給飼料価格は乾牧草輸入価格の約5割  
 [R7.10月]自給飼料27.3円/kg < 輸入乾牧草55.2円/kg

・粗飼料の自給率目標(R15)を82%に設定(R7現状58%)  
 ☞国全体の自給率を参考に82%(肉用牛93%、乳用牛65%)まで引上げ

飼料費削減効果の試算



[試算条件]  
 酪農経営体(100頭規模)  
 給与量:8.8kg/頭・日(乾物)

<飼料広域流通協議会(R4.6月~)>

- ・農業総合戦略会議の取組の一環として設立
- ・酪農家、耕種農家、コントラクターの連携による堆肥を活用した青刈りとうもろこしの生産利用の拡大を展開
- ・事務局:大分県酪農業協同組合
- ・生産実績:R6年産1,721t(77.8ha)

### 粗飼料の必要量

		肉用牛 (繁殖)	酪農		
頭 羽 数	現状 (R7)	18,900頭	7,750頭		
	目標 (R15)	21,100頭	8,650頭		
飼料供給 量(R15)	①	73,511t			
自給率	②	<b>82.0%</b>			
82%自給 必要量	③ = ① × ②	60,160 t (6,181ha)			
R7県内向け 供給見込量	④	38,761t (4,892ha)			
拡大必要量	⑤ = ③ - ④	<b>21,399t (1,289ha)</b>			
(拡大必要量 の内訳)		1,370t (48ha)	10,099t (707ha)	9,572t (534ha)	357t (-ha)
		青刈りとう もろこし	その他水田 飼料	稲WCS	牧草
		飼料作物			
		水田		牧野	

※重量は水分を除いた乾物



## 今後の取組(飼料用米)

### 濃厚飼料(飼料用米)

飼料種別	畜種	重点推進地域	今後の取組	
			作り手の確保	農地の確保
飼料用米	肉用牛 (肥育)  乳用牛 豚 鶏	全市町	<b>【対象】</b> <b>耕種農家</b> <b>【主な取組内容】</b> ・推進対象のリスト化[~2月] ・作付推進[2月~5月] ▶水田農家のメリット提示(作期分散、価格リスク回避、堆肥還元、機械導入等支援) ・畜産農家とのマッチング[2月~5月]	<b>【対象】</b> 地権者・耕作者等 <b>【主な取組内容】</b> ・作付希望者へのまとまった農地の集積[2月~5月] ▶地域計画のブラッシュアップ ▶GISシステムの活用 ▶再生協議会と連携した営農計画書情報等の活用
			<b>【対象】</b> <b>畜産農家</b> <b>【主な取組内容】</b> ・拡大希望者のリスト化と作付推進[2月~5月] ▶機械導入等支援策検討中	

#### 事例①

**【取組概要】** 経営体：(有)鈴木養鶏場(日出町)  
 経営規模：20万羽  
 飼料用米利用量：1,800t(270ha)/年  
 「豊の米卵」をブランド化

#### ポイント

- ・耕種農家の圃場に鶏糞堆肥を還元
- ・50戸(国東市、宇佐市、中津市、日出町、杵築市など)以上の耕種農家と契約し、継続的に飼料用米を確保

#### 事例②

**【取組概要】** 経営体：(有)荻町高原総合農場(竹田市)  
 経営規模：母豚2,800頭  
 出荷60,000頭/年  
 飼料用米利用量：155t(39ha)/年  
 「米の恵み」「奥豊後豚」等をブランド化

#### ポイント

- ・耕種農家の圃場に豚糞堆肥を還元
- ・R7年度から、水稻の作期・リスク分散を計画する宇佐市の大規模水田農家と広域の耕畜連携を開始



## 今後の取組(飼料作物(青刈りとうもろこし、その他)、稲WCS、牧草)

### 粗飼料(飼料作物(青刈りとうもろこし、その他)、稲WCS、牧草)

飼料種別	畜種	重点推進地域	今後の取組		
			作り手の確保	農地の確保	
飼料作物	青刈りとうもろこし	乳用牛	中津市、日田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、国東市、玖珠町 ほか	<b>【対象】</b> <b>コントラクター</b> <b>【主な取組内容】</b> ・拡大希望者のリスト化と作付推進[2月～5月] ▶機械導入等支援策検討中	<b>【対象】</b> 地権者・耕作者等 <b>【主な取組内容】</b> ・作付希望者へのまとまった農地の集積[2月～5月]
	その他(ソルゴー、イタリアンライグラス等)	肉用牛(繁殖)	全市町	<b>【対象】</b> <b>コントラクター、畜産農家</b> <b>【主な取組内容】</b> ・拡大希望者のリスト化と作付推進[2月～] ▶機械導入等支援策検討中	・裏作未利用地の活用[2月～] ▶地域計画のブラッシュアップ ▶GISシステムの活用 ▶再生協議会と連携した営農計画書情報等の活用
	稲WCS	乳用牛	竹田市、由布市、九重町、玖珠町	<b>【対象】</b> <b>牧野組合</b> <b>【主な取組内容】</b> ・推進対象の選定と耐暑性品種への転換[2月～] ▶支援策検討中 ・広域流通体制の整備	

#### 事例③ 飼料作物(青刈りとうもろこし)、稲WCS

**【取組概要】** 経営体：(株)株式会社アグテス(豊後高田市の広域活動コントラクター)  
 経営規模：青刈りとうもろこし31ha、稲WCS61ha、わら収集115ha、堆肥散布53ha

##### ポイント

- ・宇佐市や豊後高田市の生産圃場に堆肥を還元、広域の耕畜連携により15戸(日田市、杵築市、豊後高田市など)の畜産農家へ飼料供給
- ・更なる拡大には作業の効率化が必要

#### 事例④ 牧草

**【取組概要】** 経営体：中村牧野組合(九重町)  
 経営規模：採草面積80ha

##### ポイント

- ・地域内へ供給した後の余剰の牧草を地域外(日田市、玖珠町)の畜産農家へ供給
- ・更なる拡大には耐暑性品種の導入による生産性の向上と広域流通体制の整備が必要



その他

その他



# 大分県農業成長産業化推進本部の今後のスケジュール

項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
農業成長産業化推進本部	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>【令和8年度 第1回事務局会議】</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>【市町推進本部訪問】</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>【令和8年度 第2回事務局会議】</p> </div> </div>																																			
プロジェクト 10+	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>取組状況・R8事業</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>状況確認 意見交換</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>第4回県推進本部会議・その他情報共有、意見交換</p> </div> </div>																																			
中山間	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>課題の選定</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>課題・取組検討 意見交換</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>取組内容の 検討・決定</p> </div> </div>																																			
畜産振興	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>R8年産 作付推進</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>情報共有 意見交換</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>今後の取組</p> </div> </div>																																			
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>【令和8年度 第3回事務局会議】</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>【第4回大分県農業成長産業化推進本部会議】</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>【令和8年度 第4回事務局会議】</p> </div> </div>																																			
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>現地視察研修会 など</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>状況確認・意見交換</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>【第5回大分県農業成長産業化推進本部会議】</p> </div> </div>																																			
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>状況確認・意見交換</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>状況確認・意見交換</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>状況確認・意見交換</p> </div> </div>																																			